

先生各位

報告書印字内容（細菌名）変更のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、検査報告書に印字する細菌名につきまして、下記の通り変更させていただきたく、ご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《変更日》 平成 18 年 2 月 6 日（月）受付分より

《変更内容》 報告菌名の変更

変更内容	変更後	変更前
報告菌名	コアグラールゼ陰性ブドウ球菌 CNS (GPC)	コアグ陰性 Staphylococcus (GPC)

細菌名をより適切な表現に変更し呼称として定着している略称 CNS を併記いたします。

《補 足》

現在、ブドウ球菌属の細菌は 35 菌種に分類されています。ブドウ球菌のヒトに対する病原性は、血漿を凝固させる働きを持つタンパク質である**コアグラールゼ**を産生するかどうかで密接に関連しているため、コアグラールゼ陽性（コアグラールゼを産生する）コアグラールゼ陰性（産生しない）の二群に大別することが医学分野では慣用的に行われています。ヒトから分離されるブドウ球菌の中では、最も病原性が強い黄色ブドウ球菌だけがコアグラールゼ陽性であるため、これを除いた種はすべてコアグラールゼ陰性であり、これらをコアグラールゼ陰性ブドウ球菌 CNS（Coagulase -negative staphylococci）と総称されています。